

PTA活動

PとC結んだ愛に 子は伸びる

奄美市立笠利中学校



子どもたちを取り巻く環境は、家庭・地域社会それぞれについて著しく変化し、家庭や地域社会の対応が求められています。とりわけ、地域住民と連携・協力した教育活動が盛んに行われている小規模校の多い奄美大島では、地域との結びつきを深める懸け橋となるPTA活動の役割は大きいものとなっています。また、生徒は多感な時期を迎え、「保護者と生徒のコミュニケーションのあり方」が話題になること

も多く見受けられます。さらに、生きていく基盤となる人間力を養うにはコミュニケーション力が必要不可欠です。

そこで本校PTA活動では、「地域連携の充実」「コミュニケーションの充実」に力を注ぎ、活動を行っています。

まず、地域連携の充実として、体育大会の「八月踊り」では、地域の方々を講師としてお招きし、指導をいただいています。また、育てた苗の配布や、生徒の敬老会へ

の参加、ノーマディアチャレンジでの地域との連携、市民清掃への生徒の参加、水難事故防止連絡会、地域教育懇談会の実施等、地域と学校が連携して取り組む行事を多く設定しています。

親子コミュニケーションの充実では、「親子でチャレンジ！体幹トレーニング」を開催し、親子でコミュニケーションを図りながらトレーニングを実施しました。また、昨年度は「親子で自由研究に取り組もう！」と題し、親子で夏休みの自由研究について学習しました。さらに、ノーマディアチャレンジ週間に合わせて「任せてください！お手伝い大作戦！」と題し、家庭での役割を自覚させ、お手伝いを通して親子でコミュニケーションを図る場の設定に取り組んでいます。

これらの取り組みがさらに地域連携を深め、親子・地域とのコミュニケーションが活発になることを期待しています。

(教頭 牟田 典広)



体幹トレーニングの様子

